2024年 7・8月号／発行・d news agui／発行人・ナガオカケンメイ／電話：0569-84-9933／住所：愛知県知多郡阿久比町矢高五反田37-2／数字イラスト：山下アキ　広告

※注文時に提示下さい。
阿久比店のみ利用可能／2024年8月31日まで

7

2024年7・8月号
発行・d news agui
発行人・ナガオカケンメイ
tel 0569-84-9933
お電話にてお問い合わせください。

d ディーニュースのお知らせ

阿久比町の文化度をじっくり2度上げるために誕生したd news aguiという場所の情報をお届けします。毎月、阿久比町内だけに発行しています。

共

同売店とは沖縄ではじまった相互扶助の精神でみんなでお金などを出し合ってつくり、みんなで運用するスーパー(売店)コンビニのような生活用品を扱いますが、買い物以外のこともたくさん。商売というよりも、その地区で暮らす特に高齢の方々をみんなで見守る町の仕組みです。

例えば困った時に電話して頼みごとをする。例えば、一人で暮らす母親を、遠くに暮らす息子さんが心配をして、生活の様子を知ったり、買い物の費用を託したりする場所。例えば買い物ではなく、店員と雑談をする場所。レジの前にはそのための椅子が置いてあったり。そんな売店に愛と希望を見出し、研究や売店の経営、支援などを行なっている「愛と希望の共同売店プロジェクト」の小林未歩さんを沖縄から阿久比町にお招きして、最近完成した共同売店の様子を撮影した短編映画(15分程度)を上映しながら、楽しくその魅力や、どんな町にも起こりうる過疎化、高齢化した時に必要とされるそうしたコミュニティについて講演頂きます。参加料はワンドリンク(沖縄の飲み物)とちょっとしたつまみ付きで3500円(ゲストの交通宿泊費などのために少し高めですがご協力を)7月21日(日)の16時から2時間ほど。行政の方、若手の地域活動家の皆さん、ぜひご参加ください。席に限りがございます。聞き逃した方は翌22日(月)にd京都店でも19時より。

サ

ンプリングファニチャーコンテナとは、植物好きな私たちdの代表のナガオカが発案、デザインしたオリジナル家具。コンテナに植物を入れベランダや玄関、お部屋に移動して植物を楽しめるほか、重ねての収納にも。玄関に置いてシューズお手入れセットや折り畳み傘置きなど、アイデア次第であなたのオリジナルに使えます。7月16日まで、豊橋の植物店「garage」とのコラボレーション展示販売会を開催中。

阿

久比町唯一の酒蔵、丸一酒造さんと、熱燗DJつけたろうさんと共にオリジナルのにごり酒を作りました。丸一酒造さんでは他ににごり酒は製造していないため、スペシャルな試みです。阿久比町の米と水と人でつくった「あぐいずみ」。ぜひ、お楽しみください。

10

月11月に今年も開催を計画中の「あぐいの美塾」。2023年は「阿久比町らしい風景」をテーマに、様々な専門家をゲストにお呼びして講演や町歩きなどを行い、見慣れた私たちの暮らす町の風景の中に「あぐいらしさ」を感じ、考えるきっかけとしました。今年のテーマは「竹林」。阿久比に限らず知多、愛知、日本中に繁殖する竹。猛威をふるう問題児でもありますが、いつもの風景であり、資源でもあり、新たな集いの場所としての可能性をたくさん持っています。今回も全国から興味深い竹林の使い方や取り組みなど専門家、活動家の皆さんを、阿久比町にお迎えしたいと思っています。10回シリーズのトークチケットも発売予定です。お楽しみに。

BP

喫茶ベーリングプラント阿久比の美味しいお便り。

にんにくの旬がやって参りました。阿久比の農家さん、通称「あっきん」こと土井さんから、先日は美味しいにんにくを頂きまして、生で囓ってみました。にんにくを生で囓る感覚もあまり無かったので新鮮。とっても爽やか。親近感を覚えて、カレーを炒める前に揚げ焼きにしてみたり。油に香りを移すと、こんなに美味しく出来上がるものなんだなぁと、改めてにんにくの力に惚れ惚れ。先日お疲れ気味だった日、いつもの店で、そんな親近感の湧いたにんにくのメニューを発見。早速注文すると、沢山の揚げにんにく。7、8個食べたかしら、いやー、美味しかったと満足して帰宅。摂取量を知らなかった故、無事にお腹を壊しました。(笑)揚げてあっても、一日2、3個あたりだそう。無知からの行動、いやぁ勉強になりました。血液サラサラ、あの日は身体がスーッとしてました。でも美味しかったなぁ。みなさんもお一つどうぞ。

2024年より、営業時間が変わります!

火水木休み→火水休みへ

d news agui
11時から18時

ベーリングプラント阿久比店
9時から18時

臨時に休業することがあります。
お電話か公式インスタグラムでご確認ください。

最新情報は公式インスタグラム
@d_news_agui
にて毎日配信中です。※インスタ申請の際はぜひ、ひとことメッセージを添えてくださいね。

イラスト／山下アキ

ナガオカケンメイの編集長後記

機織り工場跡であぐい観光。

私たちの店は元は織物工場。ノコギリの形の屋根が懐かしい建物で、このまち阿久比町にはたくさんの工場跡が残っていて、いつかこうした工場跡を巡る「阿久比町らしいのんびりした観光コース」ができたらと考えています。カフェ雑貨店として開業して4年目。ようやく「うちの工場跡も町のために使えませんか?」と問い合わせが。待ちに待った連絡に飛び跳ねました。こうして町中を自転車か徒歩で「機織り工場」を巡りながらお茶したりART作品を鑑賞したり、町の人たちの演奏会や神楽を見たり。ノコギリ屋根の風景を残しながら、みんなで活用していきたいですね。ご協力ください。